

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館利用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内3765)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 82,727 千円 (前年度予算額：69,300 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	69,300	29,128	0	0	0	2,000	5,000	0	33,172
要求額	82,727	24,689	0	0	0	2,000	15,917	0	40,121
決定額	82,727	24,689	0	0	0	2,000	15,917	0	40,121

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・空宙博は、平成30年3月24日に県と各務原市とが共同でリニューアルオープンした国内唯一の航空と宇宙の本格的な専門博物館であり、平成30年度は43万人、令和元年度は27万人と多くの来館者が訪れていた。
- ・しかし、新型コロナウイルスの影響により令和2年度に約11万人まで落ち込み、翌年度以降は回復傾向にあるものの、令和4年度は約19万人と依然としてコロナ禍前の水準まで戻っていない。
- ・引き続き新たな展示物の導入や、旬なイベントを開催すると共に、そうした情報を発信し続けることが重要であり、内容、予算を精査しながら空宙博の魅力をPRし、来館者の増加につなげていく。

(2) 事業内容

博物館の来館者数の増加を図る（利用促進）ため、博物館の魅力及び認知度を向上させる事業を実施する。

1. 特別イベントの開催（16,880千円）
空宙博と連携する海外の博物館との共同プログラムや航空・宇宙に関連する全国レベルの大会、空宙博の日イベントを開催する。
2. 企画棟オープン企画展の開催（31,570千円）
新企画棟の完成を記念し、近年世界的に加速する宇宙開発をテーマとした企画展を開催する。
3. 人材育成（4,779千円）
展示物を活用した「教育プログラム」の実施・改善を行う。

4. 展示内容の充実（13,960千円）
海外の連携博物館やJAXAからの借受、設計図面の提供による模型製作により、展示物の充実を図る。加えて、旧館部分の修繕を行う。
5. 観光誘客（11,037千円）
博物館来館者数増加及び地域経済活性化のため、宣伝広告を行う。
6. 関係機関・団体との連携強化（4,501千円）
連携先との関係の深化と新たな連携先の開拓を模索する。

（3）県負担・補助率の考え方

県と市は、共同で博物館を所有し、運営することとしているので、本事業は、原則として県と市が同額負担する。ただし、県の施策として県が主体的に実施するもの及びその効果が市の域を超えて波及するものは県が全額を負担する。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,021	模型製作コンテスト審査員謝金等
旅費	5,963	費用弁償、業務旅費
需用費	5,577	消耗品費、対外交流費、会議費、印刷製本費、修繕料
役員費	2,027	役員費、保険料
委託料	62,135	業務委託料（各種イベント実施運営委託 等）
使用料及び賃借料	2,568	使用料及び賃借料（展示物レンタル料）
備品購入費	1,811	備品購入費（展示用什器等）
負担金、補助及び交付金	1,625	負担金（各務原市共同事業負担金 等）
合計	82,727	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）事業主体及びその妥当性

令和5年3月に策定した「清流の国ぎふ」創生総合戦略(2023～2027年度)において、
3. 地域にあふれる魅力と活力づくりー（2）次世代を見据えた産業の振興ー①産業を支える人材の育成・確保、③県内産業の活力の強化と新事業展開の推進に、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用した施策を位置づけている。

各務原市と共同で設置する博物館に関する取り組みは、同市と共同で行うことが妥当である。

なお、本博物館の維持管理については、県と市が共同で設立した（公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館が指定管理者として行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和7年度の来館者数50万人を目指すとともに、博物館を活用した本県の航空宇宙産業をPRする。また、同博物館の利用促進を図ることにより、子どもたち（主に小中学生）に航空宇宙への夢や魅力を伝えて興味を持たせ、同産業への就業につなげることにより人材不足の解消を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①博物館来館者数（人）	269,066	187,670	300,000	400,000	500,000	38%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展4種 ・空宙博写真コンテスト作品展 ○航空宇宙関連イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ちびっこ宇宙博士認定講座、ドローン体験教室、宇宙工学講座等 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・展示物の新製作（天鉄刀、はやぶさ2関連実寸模型4種）及び修繕
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展2種 ・空宙博写真コンテスト作品展 ・第5回全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト作品展 ○航空宇宙関連イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ちびっこ宇宙博士認定講座、ドローン体験教室等 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・展示物の新規製作（ファルコン、ソユーズ2、ポストーク模型）及び修繕 <p>指標① 目標：200,000人 実績：131,430人 達成率：65.7%</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展3種（はやぶさ2、UF-XS、F-4EJ改） ・第6回全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト作品展 ○航空宇宙関連イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> 入館者100万人達成記念イベント、リニューアル5周年イベント等 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・展示物の新規製作・導入（宇宙食、一式陸攻プロペラ、F-4EJ改）及び修繕 <p>指標① 目標：250,000人 実績：187,670人 達成率：75.1%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>県では、平成29年3月に策定(改定)した「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」を最重要プロジェクトに位置付け、航空宇宙産業のわが国有数の集積地である各務原地域と中部地域を広くPRするとともに、次代の航空宇宙産業を担う子どもたちに興味を持ってもらうことで将来の人材確保を掲げていることから、県が関与し本事業を進めていく必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>リニューアル開始時(H26年度)の来館者数に比べ、リニューアル後(H30年度)の来館者数は約3倍、コロナウイルスの影響下にある令和3年度でもリニューアル開始時と同程度で、リニューアル事業とその後の利用推進事業の効果は高いと言える。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>県、市及び財団が参加する会議を定期的を開催し、事業内容に関する意見交換、進捗状況の共有を行うことで、事業の効率性を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 国内旅行需要が回復傾向にある中、子どもたちから専門的な興味・知識を有する方までの幅広い層に対し、効果的かつ効率的に、博物館の魅力を伝え、さらなる集客を図ることが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 将来の航空宇宙産業の人材育成・確保のためには、より多くの子どもたちの興味関心を得ることが必要であり、イベント開催、人材育成、観光誘客、各種連携先の連携強化を実施することで、博物館の魅力及び認知度向上に取り組む。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
